

令和7年度各部の記録

御山地区大運動会(御山地区体育協会)

令和7年.10.5



大人も子どもも全力で運動に親しみ、交流を深めました。

正月用輪通しづくり(健全育成部会)

令和7年.12.14



御山敬神会の皆様や地域の方々にご協力いただき、お正月に飾る輪通しを親子で作りました。
日本の伝統文化を大切に継承していきます。

御山太々神楽(健全育成部会)

令和7年.12.14



市指定無形民俗文化財(昭和54年指定)の御山太々神楽を披露いただきました。稚児は御山小2年生と4年生の児童です。

健全育成文庫の寄贈(健全育成部会)

令和8年.1.30



今年度も御山小へ図書を寄贈いたしました。多く子どもたちに読書の楽しさを味わってもらいたいと願います。

令和7年度「かけられてうれしかった言葉」募集企画 入賞者

最優秀賞

<1年 荻野 七菜子>

わたしは、おねえちゃんに「いいよ。」といってもらえるとうれしいです。おもちゃをかしてくれたり、おやつをわけてくれたり、とてもやさしいからだいすきです。わたしもおねえちゃんに「いいよ。」といいたいです。

<3年 佐々木 千紘>

友だちに「ずっと友だちだよ。」と言われたことがうれしかったです。私は友だちとは、遊んだり、いろんなことを話したり、心を分かち合えたりする人だと思っています。だから友だちから言われる言葉が一番うれしいです。

<4年 五十嵐 惇>

弟から「いに、大好き。」と言われると、ほくの心はポカポカ温かくなります。たまにけんかもするけれど、ほくと弟はとても仲良しです。これからもずっと仲良く、助け合っていきたいです。ほくも、弟が大好き！



最優秀賞を受賞した
五十嵐さん(左)、萩野さん(中)、佐々木さん(右)

優秀賞

2年 鈴木 実結

4年 佐藤 成龍

5年 竹之内 廉

6年 渡辺 愛桜

3年 佐藤 環

5年 白石 隼士

6年 渡邊 彩音



「馬九行久」

福島市立御山小学校 校長 高澤 里美

今年は、何事もうまくいく「午年」です。風を切って前へと疾走する馬の姿からも午年は勢いのある縁起のいい干支とされています。

物事がうまくいき、いつも幸せな気持ちでいるには、物事の受け止め方が大切です。起きた出来事を自分にとってプラスととらえるか、マイナスととらえるかで幸福度が変わってきます。「うまくいっているから幸せ」なのではなく「幸せだからうまくいく」と視点を変えることができると幸福度はぐんと上がります。そこで、みなさんにご紹介したいのが、武蔵野大学教授である前野隆司さんが1,500人を対象とした調査から導き出した「幸せな人に共通する四つの因子」です。

- ① やってみよう因子：やりがいをもって物事に組みんだり、夢や目標に挑戦したりする姿勢
- ② ありがとう因子：豊かな人間関係と感謝の気持ち、そして誰かの役に立ちたいという利他の精神
- ③ なんとかなる因子：困難な状況にあっても前向きに向き合い、「大丈夫」と楽観的にとらえる考え方
- ④ ありのまま因子：他人と比べず、自分らしさを大切にできる力

ますます複雑になってくる現代社会において、「子どもは、元気でいつも笑顔😊」とはいかないのが現実です。毎日をつらそうに過ごす子どもたちも多いのです。私は、子どもたちには、ちょっとしたことでもいいから幸せを感じてほしいと心から願っています。近くにいる大人が、この四つの因子を知っていれば、子どもたちが見ている風景を違ったものにできると思うのです。

どうか、誰もが、幸せを感じながら過ごせる毎日になりますように…